

3月定例会

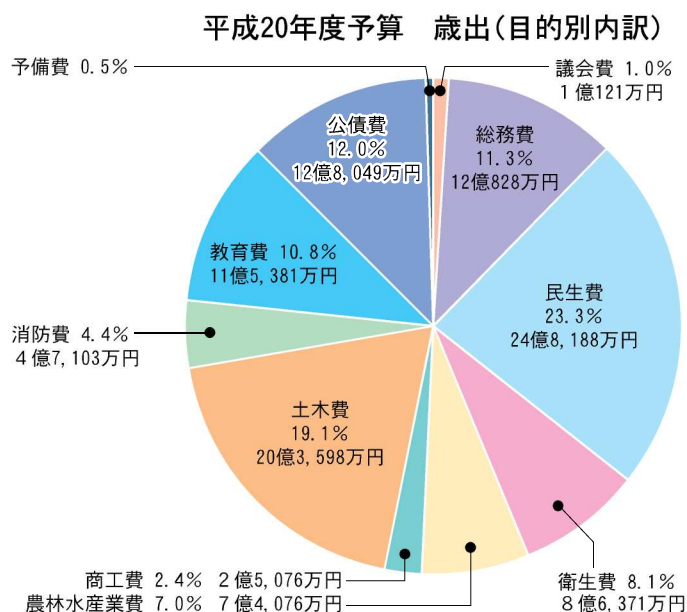
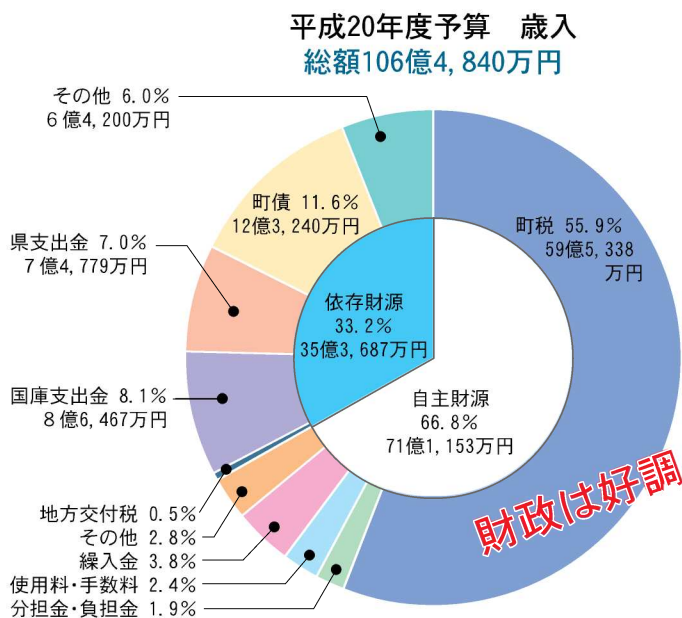
ハード事業と福祉の充実

3月定例会を7日から19日までの13日間の会期で開きました。

初日の議案説明に続き、2日目に議案質疑を行い、まず、19年度各会計補正予算、教育施設整備基金条例の制定などの9議案を本会議審議で採決し全議案を賛成全員で可決しました。

開会にあたり家人町長は1期目にかかげた10項目の基本方針に沿って新年度の「町政運営の所信」を表明しました。

今年も100億円超の予算



20年度各会計予算、各条例の制定など24議案を3委員会に付託して審査しました。委員会では現地調査を行った後、審議を行いました。

一般会計は、昨年度に比較してプラス4・8%106億4840万円です。

歳入の町税は昨年度比で5億1727万円の増加見込みで、4年連続で普通交付税不交付団体になる見通しです。

歳出では都市計画道路・駅前築善線や本田技

請願・陳情・意見書

目的として町給食センター横にセンターを設置。

○大津町後期高齢者医療に関する条例 **【制】**

○大津町乳幼児等医療費補助に関する条例 **【改】**

子どもの医療費助成を小学3年生から6年生にまで改正。

陳情①採択・賛成全員

ハンセン病問題の真の解決と国立ハンセン病療養所、菊池恵楓園の存続医療、福祉の充実を国に求める意見書の採択

陳情②採択・賛成多数

『道路整備財源の確保に関する意見書』の議決

請願①不採択

国に後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書の提出

一般質問は10人が行いました。

主な条例改正・制定

◎大津町・部設置条例 **【改】**

役場組織・機構を見直し、これまでの課を部制に再編。ただし人件費はこれまでと基本的に変わらない。

◎大津町教育支援センター条例 **【制】**

児童生徒の教育支援を

新監査委員の選任同意

富森様ご苦労様でした



大久保純一監査委員

監査委員の富森健助さんが3月末で退任されるため、新たに大久保純一さんの選任を賛成全員で同意しました。

新監査委員

氏名 大久保 純一
住所 大津町室
年齢 60歳

ハンセン病問題基本法の制定と国立ハンセン病療養所菊池恵楓園の存続、医療・福祉の充実を求める意見書

1996年3月に「らい予防法の廃止に関する法律」が成立されてから10年余が経過しました。

を図るため、次の事項を強く要望します。

● 「ハンセン病問題基本法」を制定すること

● 国会決議に基づき、ハンセン病療養所の医療、看護、介護体制の強化を図ること

● ハンセン病療養所を統廃合せず、入所者、職員、地元住民など関係者の意見を尊重し、地域・国民のための医療・介護施設等として広く開放すること

道路整備財源の確保に関する意見書

賛成13人
反対2人

道路は、国民生活や経済、社会活動を支える最も基礎的なインフラであるが、本町の道路整備は遅れており、その整備は町民が長年にわたり熱望しているところである。

● 現行水準を維持することにより、道路整備の安定的かつ確実な財源確保を図ること。

● 地方の道路整備は現行の道路特定財源のみでは賄えていない状況にかんがみ、国の道路特定財源の地方への配分割合を高めることなど、地方における道路整備財源の充実に努めること。

意見書に対する討論

賛成だ！

石原大成議員

道路特定財源の暫定税率の期限が迫るこの時期に、期限内の本法案の成立に向け、県内市町村が丸となって要望を行うことは大変重要である。
従いまして、この意見書の提出に対して賛成の立場を表明する。

大田黒英生議員

瀬田竜田線、瀬田方面より整備拡張され、森、吹田は現状のまま

反対だ！

永田和彦議員

日本は人口減社会に突入し納税者が減っている。新規の道路を造つたから旧道を下取りに出すことは出来ないから増え続ける。すでに修繕費だけで多額の財源消費をしている。将来に負の遺産を残さないためにも必要最低限の道路をきちんと検証して造るべきだ。また、最近の特定財源を使った不祥事無駄遣いの数々は予算配分が下手であり過剰課税の表れだ。京都議定書の地球温暖化対策に対して逆行している。

荒木俊彦議員

国の借金は800兆円にもなるのに、更に10年間に54兆円もの特定財源を政治家と官僚とゼネコンがむさぼる制度を、いつまでも許していいのか？ そのつけとして後期高齢者医療制度など社会保障や暮らしの予算は削られていく。54兆円もの財源は自治体に配分して、自治体の判断で福祉に使うか、道路に使うかの判断が求められている。